

「公共工事関係部署のDX推進プラン」の位置づけ

■「北九州市DX推進計画」(北九州市官民データ活用推進計画(第2期))(R3.12)

【ミッション(目的・使命)】
デジタルで快適・便利な幸せなまちへ

「公共工事関係部署のDX推進プラン」

「北九州市DX推進計画」のもと、**公共工事関係部署**(技術監理局、建設局など)の**DX推進**において、「**インフラ分野のDX**」固有の課題を踏まえ、**具体的な取組**(ICT施工の推進など)を**明示し、実践するためのプラン**。

<公共インフラ分野の課題>



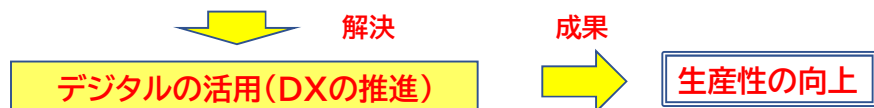
プランを策定し、官民連携でDXに取り組み、課題の解決を目指す。

公共工事関係部署のDX推進プラン 概要版

第1 総論(プランの目的)

公共インフラの課題	主な取組内容	
	官民に共通する課題	市(公共工事部署)の課題
担い手不足 (技術者の人材育成)	<ul style="list-style-type: none"> 設計や積算の技術伝承 業務の精度に差(経験不足) 	<ul style="list-style-type: none"> i-Con推進協議会の研修への参加促進
IT環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 新技術の点検やICT工事が少ない(初期費用が高い) 	<ul style="list-style-type: none"> リモートワーク用の機器不足 財務・工事・入札・検査の各システムが連携していない。
情報の適正管理		<ul style="list-style-type: none"> ICT施工(i-Con)の推進 情報共有化(工事と契約の情報共有システム構築)
業務の効率化 (意識改革)	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理情報が一元化されていない。 工事の図面管理が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> GISの活用 書類のデータベース化
感染症拡大防止 (働き方改革)	<ul style="list-style-type: none"> 工事情報の転記・再入力が多い 資料作成に時間を要する 紙によるやり取りが多い 現場への移動時間が長い 	<ul style="list-style-type: none"> 情報更新に時間を要する 積算が非効率(データ化や様式の統一化されていない)
	<ul style="list-style-type: none"> 多くの設計や工事の協議が対面形式である 現場引渡・設計確認が現場で実施される(密な状態) 	<ul style="list-style-type: none"> 積算業務がリモートワークしづらい。 オンライン監督・検査 受発注者間情報共有システム(ASP)の実施 施設点検(AI画像解析) 積算チェックの自動化
		<ul style="list-style-type: none"> オンライン会議の標準化 テレワークの普及拡大 リモートワークルールの設置

※「北九州市DX推進計画」のもと、「デジタルで快適・便利な幸せなまち」の実現に向け、**技術系部署のDXの取組を推進**するものである。



第2 公共工事関係部署が目指す姿(ビジョン)とプランの推進

ビジョン

公共インフラにおける課題をデジタル技術を活用し解決するため、官民連携で人材を育成し、「生産性向上」や「働き方改革」に公共工事関係部署で取り組み、市民ニーズに迅速かつ的確に対応する。
～ 職員がやる気に満ち、円滑に市民サービスを提供する職場を目指して ～

< 成果目標 >



【取組期間】令和3年度から令和7年度

【取組対象】公共工事、施設管理、防災・減災

【推進体制】

「公共工事関係部署DX検討会議」(プランの検討、フォローアップ) <事務局:技術監理局技術企画課>
(メンバー:危機管理・技術監理・環境・産業経済・建設・建築都市・港湾空港・区役所・上下水道の各局(室・区)係長級)

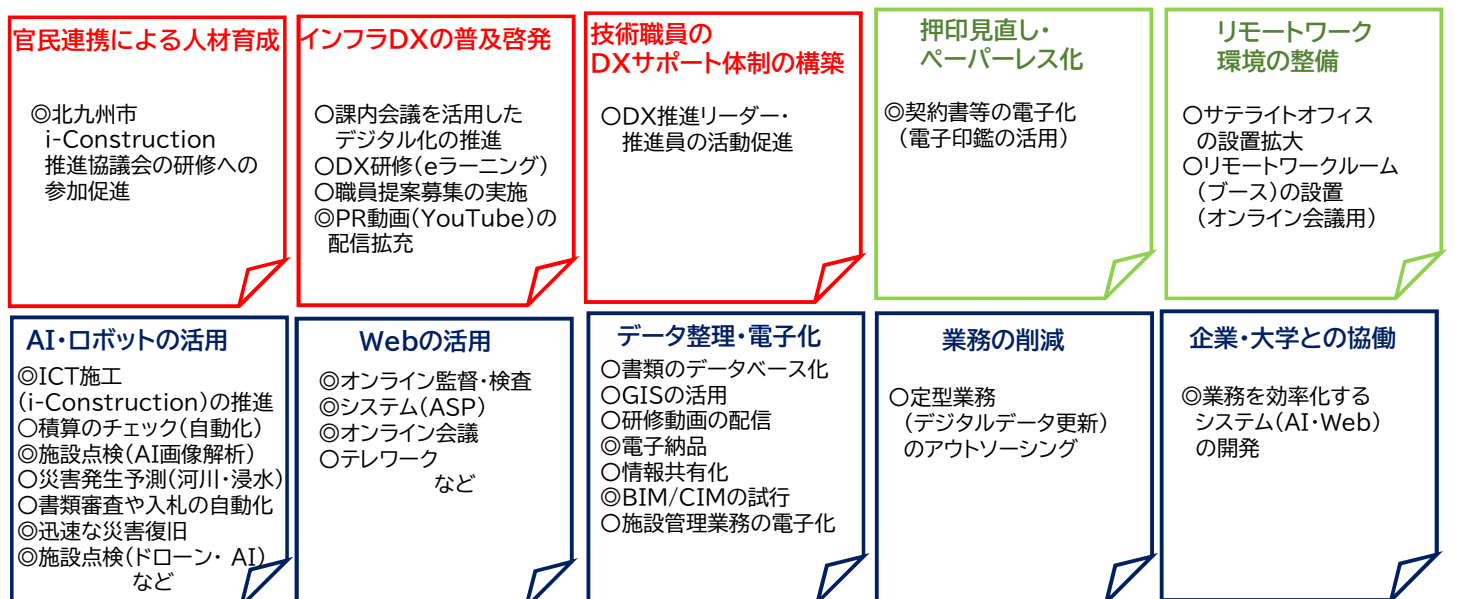
3

第3 プランの取組内容

取組方針(スローガン)



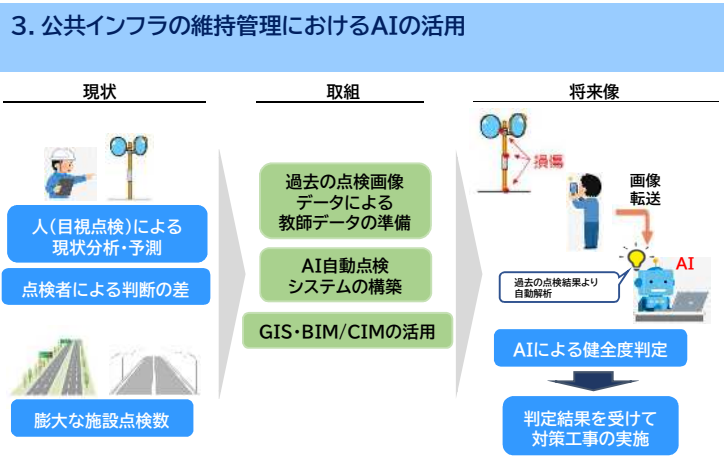
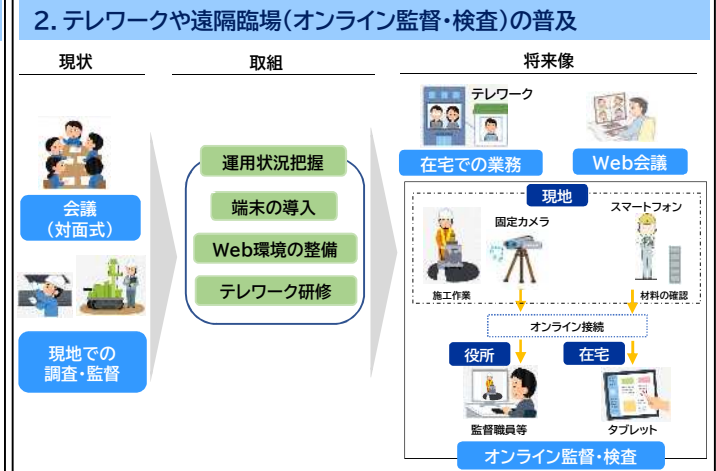
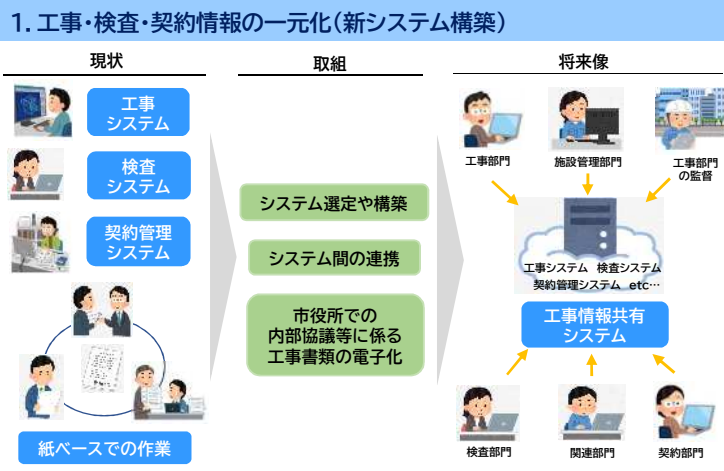
< 取組内容 >



※官民連携の取組:◎ 市役所(公共工事関係部署)の取組:○

4

第4 将来の公共工事関係部署の業務イメージ(例)



DX推進に向けたロードマップ

		主要な取組のロードマップ							
		取組んでいるもの	取組期間内に取組むもの(R4年度～R7年度)					中長期的に取組むもの	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	主な成果目標	令和8年度～	
「公共工事関係部署のDX推進プラン」策定		会議の開催、プラン策定							
人材育成・意識改革	○課内会議を活用したデジタル化の推進		DXのワーキンググループの設置(FAQの作成やKintoneの活用検討等)						
	○DX研修(eラーニング)		自主学習テキストの充実、積極的な活用の普及						
制度改正・環境整備	○職員提案募集		職員提案の実施(業務改善)の推進						
	○PR動画(YouTube)の配信		PR動画の制作・配信						
生産性向上・働き方改革	○「北九州市-Construction推進協議会」の研修への参加促進		PR動画の活用						
	○サテライトオフィスの設置拡大		関係局との協議						
	○リモートワークルーム(ブース)の設置(オンライン会議用)		Web会議用システムの導入						
	○ICT施工(i-Construction)の推進		研修の実施(利用者等へのアンケートを実施)						
	○工事検査時の画像診断(照度照合)		関係局との協議						
	○災害発生予測(河川の健全度診断)		関係局との協議						
	○災害発生予測(浸水)		関係局との協議						
	○都市型災害の予防	【将来イメージ4】	関係局との協議						
	○入札・契約事務の自動化	【将来イメージ3】	関係局との協議						
	○迅速な災害復旧(ドローン/AIの活用)	【将来イメージ2】	関係局との協議						
○施設点検(AI画像解析)(道路)		関係局との協議							
○施設点検(AI画像解析)(下水道)		関係局との協議							
○施設点検(ドローン/AIの活用)		関係局との協議							
○施設点検(ドローンの活用)(下水道)		関係局との協議							
○ゴミの不運物の搬入チェックにおけるAIの活用		関係局との協議							
○オンライン監督・オンライン検査	【将来イメージ2】	関係局との協議							
○発注者情報共有システム(ASP)の(原則)全面実施		関係局との協議							
○オンライン会議(協議)の標準化	【将来イメージ2】	関係局との協議							
○テレワークの普及拡大		関係局との協議							
○道路等の損傷箇所に係る市民からの通報のオンライン化		関係局との協議							
○施設整備事業の指定業者(緊急業者)への工事指示の効率化		関係局との協議							
○書類のデータベース化		関係局との協議							
○GISを活用した点検データ等の蓄積		関係局との協議							
○研修動画の配信		関係局との協議							
○電子納品		関係局との協議							
○情報共有化(工事情報と契約情報の一元化)【将来イメージ3】		関係局との協議							
○情報共有化(施設(施設維持管理))		関係局との協議							
○情報共有化(一元化)(下水道)		関係局との協議							
○情報共有化(一元化)(公園)		関係局との協議							
○BIM/CIMの実施(試行)		関係局との協議							
○施設管理業務の電子化		関係局との協議							
○定型業務(デジタルデータ更新)のアウトソーシング		関係局との協議							

◎:官民連携による取組 ○:市役所(公共工事関係部署)での取組

「公共工事関係部署DX検討会議」でのフォローアップ(毎年度、取組の進捗を確認し、成果目標達成を目指す(プランの見直しなど適宜対応))